

練馬区の将来像を考える区民懇談会
報告発表会 概要

日時：平成20年3月24日（月）午後6時30分～8時30分

場所：練馬区立勤労福祉会館1階 集会室

発表者（敬称略、50音順）

○区民生活分野分科会

西塚正美、平野一枝、本山裕一

○健康福祉分野分科会

岩月裕美子、林真未

○教育分野分科会

石井和政、奥野雅司

○環境まちづくり分野分科会

上野定雄、加藤眞一、関口陽一、沼田美穂、平田英二、蒔田實

参加者 46名

1. 開会

- ・事務局から「練馬区の将来像を考える区民懇談会」の設立経緯について説明

2. 練馬区の将来像を考える区民懇談会報告の発表

- ・会長から検討の経過について説明

■区民生活分野分科会

－委員から「練馬区の将来像を考える区民懇談会」＜報告書（概要版）＞にもとづき発表

■健康福祉分野分科会

－委員から「練馬区の将来像を考える区民懇談会」＜報告書（概要版）＞にもとづき発表

■教育分野分科会

－委員から「練馬区の将来像を考える区民懇談会」＜報告書（概要版）＞にもとづき発表

■環境まちづくり分野分科会

－委員から「練馬区の将来像を考える区民懇談会」＜報告書（概要版）＞にもとづき発表

3. 休憩、質問・意見等の受付

- ・休憩の間に、質問・意見等がある参加者に質問用の用紙に記入してもらい、事務局で整理を行った。

4. 質疑応答

一事務局から参加者の質問・意見を紹介し、委員が回答した。また、行政に対する意見や要望については適宜事務局が回答した。

○事務局

- ・参加している皆様から多数のご意見を頂いたが、区民懇談会が検討した報告内容に関してご意見やご質問を頂戴するという趣旨であることから、区民懇談会の委員が回答できる内容から紹介したい。
- ・まず、「水が身近なまち」に関して幾つかご質問を頂いている。事業アイデアとして提案されている「水循環マスタープラン」の内容や考え方について具体的なものがあればご教示頂きたいというご意見、白子川の源流が干上がってしまっているが、どうすればこのような事態が改善できるだろうかというご質問を頂いている。
- ・区民懇談会では、あくまでも事業のアイデアとして頂いているものであるため、具体的な内容についてはお答え頂きにくい点もあるかと思うが、今のご質問についてなにかコメントがあれば頂きたい。

○委員（環境まちづくり分野分科会）

- ・今回の懇談会の作業期間はわずかであった。細かいデータを持ち寄って検討を行った結論ではないということもまず、ご理解頂きたい。また、こうしたことから発言に個人的な考えも入ってしまうこともご理解頂きたい。
- ・懇談会での議論の中で、野川の例を引き合いに出しながら、練馬区内の川の水が干上がってしまうのではないかと、という心配をしていたが、白子川で同じ現象が起きてしまった。
- ・野川に関しては、東京都の土木技術センターを中心として様々な研究を進めており、例えば浸透ますについては水量の回復に大きな効果があったことがわかりつつある。今後とも調査を進めていくことが決められているため、練馬区でも地下水の状況や、何処で雨水を浸透させれば何処の水量を回復させることができるかといったことを調査する必要があると思う。そのうえで、区が中心となって、区民団体や大学などとの連携を図りながら、方向性を検討していくということが、マスタープランの構築内容として想定していることである。

○企画部長

- ・行政に対する質問やご意見を数多く頂いているが、これからの進め方と基本構想と長期計画の関係についてご説明させて頂きたい。
- ・4月に、学識経験者や懇談会委員のうち一部の方にご参加頂く審議会を設置する予定である。今日の報告会で提言があった内容やご意見を添えて、この審議会に提示する。審議会でも1年間ご議論頂いた上で、1年後の21年3月に基本構想の答申を頂くこととしている。なお、答申を頂く前に、区民の方からご意見を頂くプロセスを設ける予定である。
- ・審議会の答申を区が受け止めて、平成21年度に基本構想を策定することとなる。
- ・基本構想は、具体的な取り組みよりは「こうありたい」という方向性を明らかにするものにしたいと考えている。
- ・区民懇談会の報告の中では事業アイデアも頂いているし、今回の質問でもそれに関連す

る内容をたくさん頂いている。この点については基本構想と合わせて策定する長期計画の中で取り込んでいきたいと考えている。

- ・現在の基本構想が策定された時は区として長期計画を持っていなかったため、基本構想にあるべき方向性だけではなく具体的に組み込んでいきたい内容も盛り込んでいたが、新しい基本構想ではこれらを切り分けた上で、基本構想－長期計画の体系の中で整理していきたいと考えている
- ・今回のご意見・ご質問については、審議会に提示するとともに、行政に対するご質問やご意見については、基本構想を検討していく過程で区としての考え方を示したい。

○事務局

- ・健康福祉分野のアイデアとしてあった「総合的な情報案内・相談の窓口」について、「10年後といわず、すぐにつくって欲しい」というご意見があった。また、「身近なところで相談窓口を設置することは大変良いことであり、できるところから段階的に構築して欲しい」というご意見も頂いた。
- ・「全般的に、発表がすばらしくこのような機会を持つことが非常に良かった」「練馬区在住者の発想なので、地方出身者の発想があると良かった」「町会、自治会の加入率を上げることも必要ではないか」といったご意見も頂いた。
- ・その他、「団塊世代の活用についても例えば具体的にどのようにするのか」など、幾つかの発表内容について具体的な検証が必要というご意見も頂いている。
- ・区民懇談会では、委員が幾つかのテーマにポイントを絞って検討を行った。それに対し、こうした内容についての意見はないのか、といったご質問を頂いている。例えば、「障害者向けの高等教育について政策がはっきりしていない、職業人になることを前提とした具体的な支援策の検討が必要ではないか」、環境・まちづくりについては、「エネルギーや省エネに関する内容では、地球温暖化対策を打ち出すべきではないか」といったことである。
- ・また全般的に、「バリアフリーからユニバーサルデザインという方向性が指摘されているが、関連してどのような取り組みを考えているか」といったご質問も頂いている。
- ・その他、「公共施設が将来の文化資産となるようなレベルアップをすべきである」「歩行喫煙の禁止ができないか」「みどり30推進計画があるが、将来像の中ではどのように位置づけるのか」といったご意見も頂いている。
- ・こうした質問に対して、委員の方でコメントがあればお願いしたい。

○委員（環境まちづくり分野分科会）

- ・地球温暖化と同時に、ヒートアイランド現象も忘れてはいけない。それを防ぐためには、みどりでまち全体を覆うことが必要であると思う。
- ・区としてこうした問題を全庁体制でとりあげて対応していく必要がある。
- ・練馬区は、浸水の危険性が高い地域であるので、ヒートアイランド現象については今後とも留意することが必要だと思う。

○委員（区民生活分野分科会）

- ・ヒートアイランド現象は昔から大きな問題となっている。これを防ぐためにはどうすべ

きかということで、みどりの問題を議論したが、みどりを線で結ぶことが重要だという考えに至った。道路には全て街路樹を植え、沿線の住宅では屋上緑化や小さな緑を増やす取り組みを進め、公共施設や大きな集合住宅には大きなみどりを蓄えるようにすることなどで、みどりを防波堤とする。このように練馬区をみどりで覆うことが、ヒートアイランド現象を防ぐ手だてではないかと思う。

- ・区民全員で考えて、いろいろな対策を立てていかなければならない問題だと思っている。

○委員（環境まちづくり分野分科会）

- ・環境まちづくり分野では、「誰もが移動しやすいまち」という将来像を掲げているが、「誰もが」という中にユニバーサルデザインという考え方を取り入れている。
- ・個別の取り組みではバリアフリーをうたっているが、それを進めることで、まず各拠点の移動のしやすさが達成され、それをつなげることで、ユニバーサルデザインが実現できるのではないかと考えている。

○事務局

- ・健康福祉分野分科会の発表の中で、障害の「害」の字がひらがなになっている点について質問があったのでご説明をお願いしたい。

○委員（健康福祉分野分科会）

- ・高齢者・障害者福祉のグループにおいて、障害の「害」はひらがなで表記することが適切ではないかという判断をしており、練馬区の将来像を考える区民懇談会報告書の健康福祉分野の1ページにその説明を記載している。

○委員（健康福祉分野分科会）

- ・ただし、行政や法律用語では「害」として漢字を利用している。「害」という言葉があるだけで、その人になにかマイナスイメージがついて回ることを避けたいということでひらがな表記とした。ただし、行政用語では漢字を利用しているため、統一表記になっていない。

○事務局

- ・その他のご意見は主に、区に対する意見などである。幾つか紹介したい。
- ・「市民農園や区民農園がたくさんあるが、農家の遺産相続で今後無くなる可能性があり対策が必要」「大泉地区への総合病院の設置方針はあるのか」「空き校舎の有効利用についてはどのように進んでいるのか」「(仮称)ふるさと文化館を生涯学習センターに改築して欲しい」「現在の練馬区の基本構想では根本となる考え方を示しているが、新基本構想ではこれを継承するのかどうか」といったご意見・ご質問・ご要望を頂いている。
- ・これらについては、1つ1つお答えする時間はないが、長期計画の策定や具体的な事業の検討の中で、こうしたご意見等を踏まえながら検討させて頂きたい。

5. 閉会

以上